



今年も残すところ一か月。感染予防の影響で思うような活動ができず、心残りの多い年になりそうです。師走を迎え、駆け込みの仕事もあるかと思いますが無理せず体調管理に努めてください。

一時は落ち着いた感染も、このところ再び拡大し、市内でも感染者の急増が報告され年末年始も予断を許さない状況です。市では、重症化リスクの高い65歳以上の高齢者と緊急事態宣言下でも休業できない福祉施設や介護サービス、幼稚園保育園などに勤務するスタッフを対象に、無症状でもPCR検査を受け付けることになりました。順次開始しますので希望者は保健センターにお申込みください。費用は自己負担分5,000円を除き公費負担となります。

三島駅南口東街区再開発事業の推進にあたり、7月以降、楽寿園や生涯学習センターなどの多くの市民の方が集まるイベントにおいて、本事業に関するパネルを展示し概要を説明しながら意見を聴取する、オープンハウス方式での取組みも実施しています。市民説明会に参加できなかった方や、事業のことをあまりご存知でない方など説明会とは異なる視点からも、多くのご意見をいただいております。事業の節目に開催する市民説明会と併せて、引き続き、様々な機会を利用して市民の皆様の意見聴取に努めてまいります。

三島市長 豊岡 武士

### 住むなら三島 移住・定住サポート情報

地方への移住が注目を集める中、三島市では『みしま暮らし』の魅力を外に発信し、様々な施策で若い世代の移住定住を進めています。

#### 子育て支援制度 安心のサポートで楽しみながら子育てしてみませんか

- 充実の子ども医療費補助制度**  
子どもの医療費は高校生相当年齢まで入院・通院ともに無料で安心！
- 安心な妊娠・出産・子育て相談窓口**  
三島市子育てコンシェルジュ…子育てについての悩みや就学前のお子様の預け先に関する保護者の相談に対応  
子育て世代包括支援センター…母子保健コーディネーターが妊娠期から出産、子育て中の様々な相談に対応
- お父さんの育児休業取得補助金** お父さんの育児・家事参加を支援！  
男性従業員の5日以上の子育て休業を取得に対して、本人と事業主にそれぞれ1日につき5千円の補助金を支給。(上限10万円)
- 負担が軽くて嬉しい保育料(保育園)**  
国の定める額から約4割軽減した保育料で負担軽減。世帯年収や第1子の年齢制限を設けず、第2子は半額、第3子は無料。

#### 住まい支援制度 移住・定住をお考えのご家族をきめ細かく支援します

- 住むなら三島 中古住宅情報サイト**  
劣化の有無など住宅診断を行った中古住宅の情報を公開で便利！安心！
- 若い移住世帯かつ住宅購入者向け補助金制度** 住むなら三島移住サポート  
・市内に住宅を建設または取得する方(中古住宅含む)  
・夫婦いずれかが満40歳未満の世帯、または中学生以下のお子様と同居する満46歳未満の親

以上の条件が前提で

1. 県外からの移住者 > 100万円支給
2. 県外からの移住者 > 50万円支給 (移住・就業支援補助金交付決定者)
3. 市外からの移住者 > 25万円支給 (夫婦いずれかの父または母が市内に住民票を置いている方)

お子様1人につき > 2万円上乗せ (上限6万円)

※平成28年4月1日以降に工事請負契約または売買契約を締結した物件

※住宅取得後、1年以内であること

詳しくは三島市ホームページ、または 三島住まい推進室 ☎983-2750

## 「協働」から「共創」へ

### ～地域共生社会の実現を目指して～

人口減少・少子高齢化の進展、市民ニーズが複雑・多様化する中、地域では担い手不足やつながりの弱まりから介護や子育てなどの福祉や防災の現場で行政だけで公を担うことが難しい状況に直面しています。また、様々な分野別に整備されてきた公的支援では対応が困難なケースも増えています。「地域共生社会」とは、このような社会構造や人々の暮らしの変化を踏まえ、制度・分野ごとの『縦割り』や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が『我が事』として参画し、人と人が世代や分野を超えて『丸ごと』つながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会です。

三島市では、これまで市民・団体・企業・行政が互いに連携・協力する「協働の取組み」による市民主体のまちづくりを進めて様々な仕組みづくりに取り組んでまいりました。



今後は、個々の持つ知識や経験を最大限に生かして地域課題を解決し、目指す地域をともに創りあげていく「共創」の取り組みへと進化させてまいります。

## トピックス みしま

### ◇市民文芸誌「文芸三島」第43号発行

文芸活動に関心をもつ市民の皆さんの作品を掲載した文芸誌「文芸三島」は、昭和53年度に創刊されました。小説、評論、随筆、詩、短歌、俳句、川柳、はめ字文の8部門で、第43号の今年には175作品の応募の中から約160作品が掲載されています。

#### 【販売について】

販売期間 12月11日(金)～令和3年3月5日(金)

販売価格 1冊600円

販売場所 文化振興課、図書館本館、図書館中郷分館、協力書店

#### 【入賞者表彰式】

12月10日(木) 13:30～ 市民生涯学習センター講義室

### ◇年末交通安全県民運動 12月15日(火)～31日(木)

年末の交通安全県民運動。市民一人ひとりが交通安全について意識を高め、交通ルールの遵守と交通マナーの実践に努め交通事故防止を図ります。期間中は「一斉街頭広報」や「出張！交通パトロール」などを実施し、ドライバーや歩行者へ交通安全を呼びかけます。また、12月18日(金)県下一斉の「飲酒運転等危険運転防止の日」に合わせて飲酒運転根絶啓発活動として、萩交差点周辺の飲食店を訪問しポスターなどによる啓発を依頼します。

### ◇令和3年版 三島市民カレンダーの発行

市民カレンダーは、その年の主な事業やお知らせなどを掲載し、市民の皆様の生活に役立てていただくよう昭和42年から発行を続けています。今年には「未来に残したい三島」をテーマに写真を公募し、お寄せいただいた319点の中から選定した作品でふるさと三島を印象づけるカレンダーが出来上がりました。『広報みしま』と一緒に各戸に配布する他、公民館などでお渡しします。

三島市長	〒411-0035 三島市大宮町 2-14-20
豊岡たけし後援会事務所	TEL 055-976-2160 FAX 055-976-2159
	E-mail : toyotake@mail.wbs.ne.jp
ホームページ	<a href="http://www.toyooka-takeshi.jp/">http://www.toyooka-takeshi.jp/</a>